

1月
January

使っている花 ■
スイセン「ペーパーホワイト」、スイートピー「パールホワイト」、ストック「ホワイトカルテット」



スイセン

花言葉 自己愛／尊敬

香りを束ねる“Scented Bouquet”
雪のような純白をあつめて

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 涼しいところに飾ると長く楽しめます。
- 乾切り戻して水道水に飾るだけでOKな手間いらずの花です(切り花栄養剤を入れると葉が黄色くなりやすくなります)。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①あわせて5、6本のスイセン、スイートピー、スプレーストックを短めにカットします。ストックの葉の水に浸かる部分はあらかじめ取り除きます。
 - ②ミニブーケのように小さく束ね、麻ヒモなどでまとめます。球根花の茎は柔らかいので茎を潰さないように気をつけましょう。
 - ③そのままグラスなどに飾ってもよし、リボンを結んで香りのプチギフトにするのもおすすめです。
- ※スイセンは、根元の袴(はかま)と呼ばれる表皮で葉がまとまっているので、葉も使いたい場合は、袴を短くしすぎないようにカットすると花と葉がバラバラになりません。

凛と咲く清々しい香り

厳しい寒さの中、早春を告げる花。「雪中花」とも。世界最古の歴史を持つ球根植物で、さまざまなタイプの花姿や香りを楽しむことができます。1月、ヨーロッパの街角の花店には春の香りの花々を束ねた“Scented Bouquet”が並びます。学名「Narcissus」はギリシャ神話の美少年の名に由来、「ナルシスト」の語源という話は有名。



WEEKEND
FLOWER

スイセン

花言葉 自己愛／尊敬

香りを束ねる“Scented Bouquet”
雪のような純白をあつめて

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 涼しいところに飾ると長く楽しめます。
- 乾切り戻して水道水に飾るだけでOKな手間いらずの花です(切り花栄養剤を入れると葉が黄色くなりやすくなります)。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①あわせて5、6本のスイセン、スイートピー、スプレーストックを短めにカットします。ストックの葉の水に浸かる部分はあらかじめ取り除きます。
 - ②ミニブーケのように小さく束ね、麻ヒモなどでまとめます。球根花の茎は柔らかいので茎を潰さないように気をつけましょう。
 - ③そのままグラスなどに飾ってもよし、リボンを結んで香りのプチギフトにするのもおすすめです。
- ※スイセンは、根元の袴(はかま)と呼ばれる表皮で葉がまとまっているので、葉も使いたい場合は、袴を短くしすぎないようにカットすると花と葉がバラバラになりません。

凛と咲く清々しい香り

厳しい寒さの中、早春を告げる花。「雪中花」とも。世界最古の歴史を持つ球根植物で、さまざまなタイプの花姿や香りを楽しむことができます。1月、ヨーロッパの街角の花店には春の香りの花々を束ねた“Scented Bouquet”が並びます。学名「Narcissus」はギリシャ神話の美少年の名に由来、「ナルシスト」の語源という話は有名。



WEEKEND
FLOWER

1月
January

使っている花 ■
スイセン「ペーパーホワイト」、スイートピー「パールホワイト」、ストック「ホワイトカルテット」



1月
January

使っている花 ■
スイセン「ペーパーホワイト」、スイートピー「パールホワイト」、ストック「ホワイトカルテット」



スイセン

花言葉 自己愛／尊敬

香りを束ねる“Scented Bouquet”
雪のような純白をあつめて

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 涼しいところに飾ると長く楽しめます。
- 乾切り戻して水道水に飾るだけでOKな手間いらずの花です(切り花栄養剤を入れると葉が黄色くなりやすくなります)。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①あわせて5、6本のスイセン、スイートピー、スプレーストックを短めにカットします。ストックの葉の水に浸かる部分はあらかじめ取り除きます。
 - ②ミニブーケのように小さく束ね、麻ヒモなどでまとめます。球根花の茎は柔らかいので茎を潰さないように気をつけましょう。
 - ③そのままグラスなどに飾ってもよし、リボンを結んで香りのプチギフトにするのもおすすめです。
- ※スイセンは、根元の袴(はかま)と呼ばれる表皮で葉がまとまっているので、葉も使いたい場合は、袴を短くしすぎないようにカットすると花と葉がバラバラになりません。

凛と咲く清々しい香り

厳しい寒さの中、早春を告げる花。「雪中花」とも。世界最古の歴史を持つ球根植物で、さまざまなタイプの花姿や香りを楽しむことができます。1月、ヨーロッパの街角の花店には春の香りの花々を束ねた“Scented Bouquet”が並びます。学名「Narcissus」はギリシャ神話の美少年の名に由来、「ナルシスト」の語源という話は有名。



WEEKEND
FLOWER

スイセン

花言葉 自己愛／尊敬

香りを束ねる“Scented Bouquet”
雪のような純白をあつめて

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 涼しいところに飾ると長く楽しめます。
- 乾切り戻して水道水に飾るだけでOKな手間いらずの花です(切り花栄養剤を入れると葉が黄色くなりやすくなります)。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①あわせて5、6本のスイセン、スイートピー、スプレーストックを短めにカットします。ストックの葉の水に浸かる部分はあらかじめ取り除きます。
 - ②ミニブーケのように小さく束ね、麻ヒモなどでまとめます。球根花の茎は柔らかいので茎を潰さないように気をつけましょう。
 - ③そのままグラスなどに飾ってもよし、リボンを結んで香りのプチギフトにするのもおすすめです。
- ※スイセンは、根元の袴(はかま)と呼ばれる表皮で葉がまとまっているので、葉も使いたい場合は、袴を短くしすぎないようにカットすると花と葉がバラバラになりません。

凛と咲く清々しい香り

厳しい寒さの中、早春を告げる花。「雪中花」とも。世界最古の歴史を持つ球根植物で、さまざまなタイプの花姿や香りを楽しむことができます。1月、ヨーロッパの街角の花店には春の香りの花々を束ねた“Scented Bouquet”が並びます。学名「Narcissus」はギリシャ神話の美少年の名に由来、「ナルシスト」の語源という話は有名。



WEEKEND
FLOWER

1月
January

使っている花 ■
スイセン「ペーパーホワイト」、スイートピー「パールホワイト」、ストック「ホワイトカルテット」

